

平成 30 年度

# 総合教育部の運営方針

<部の構成>

教育政策課、まなび舎整備室、学校規模調整課、おいしい給食課  
<担当事務>

- (1)教育に関する事務の執行状況の点検・評価に関すること。
- (2)教育委員会の会議に関すること。
- (3)学校園及び学校給食共同調理場に係る施設の新設並びに改良工事の計画及び調整に関すること。
- (4)学校園等施設的环境整備に関すること。
- (5)学校規模等適正化の推進に関すること。
- (6)学校園関連用地の管理に関すること。
- (7)学校給食に関すること。

<部の職員数>H30年4月1日現在

正職員	148名
再任用職員	8名
任期付職員	2名
非常勤職員	216名
合計	374名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

## 1. 基本方針

総合教育部では、「おいしい給食課」や「まなび舎整備室」等、組織の方向をわかりやすく部・課（室）名とした機構改革を行い、より効率的・機能的な事務執行体制の整備を進めるとともに、教育委員会内の取りまとめ及び市長部局との調整、連携に取り組みます。

平成 30 年度は、校門の安全監視等、学校園の安全体制の確保、「まなび舎」として子どもたちが快適に過ごせる学校園の施設整備、学校規模適正化の取り組み、「おいしさ・品質日本一」を目標としたおいしい給食の提供等、子どもたちが学ぶ楽しさを感じながら安全に安心して学校園での生活が送られるように、また、「枚方市の学校に通いたい、通わせたい」と思えるように、教育環境のさらなる充実を図ります。

## 2. 重点施策・事業

### (1) 学校園の安全対策

方向性	保護者や地域住民の協力も得ながら、小学校の校門の安全管理を行い、学校の安全体制づくりを進めます。
取り組み	監視カメラ及び校門のオートロック装置に連動したワイヤレス子機付きインターホン等の活用に加え、保護者や地域住民の協力による校門の見守りを実施し、引き続き児童の安全確保を図ります。 《目標値》 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数：0 件 (前年度実績：0 件) 平成 30 年度当初予算：32,684 千円

(2) 小中学校教育用 ICT 機器等の整備	
方向性	子どもたちの学習意欲を高め、子どもたちの主体的・協働的な学びをめざし、効果的な教育用 ICT 機器を整備し、ICT 機器を活用した授業ができる環境整備を推進します。
取り組み	<p>小中学校のコンピュータ教室機器等の更新に合わせて導入したタブレット型パソコンの活用のために、教員の授業における ICT 活用を推進する人的サポートや、周辺機器の環境整備を行います。</p> <p>《目標値》</p> <p>児童・生徒の一人あたりの教育用パソコンの台数：9.1 人に 1 台 (前年度実績：11.3 人に 1 台)</p> <p>平成 30 年度当初予算：129,390 千円</p>
(3) 就学前の教育と保育のあり方に係る一体的・総合的なプランの策定	
方向性	幼保連携のもと就学前の教育と保育のあり方に係る一体的・総合的なプランを作成します。
取り組み	保育所の入所者数は増加傾向にある一方、市立幼稚園については定員に満たない状況にあることを踏まえ、市の喫緊の課題である待機児童対策推進策、就学前児童の教育と保育のあり方に係る方向性を示した一体的・総合的なプランを策定します。
(4) 枚方市学校施設整備計画における長寿命化改修事業	
方向性	<p>「枚方市学校施設整備計画（第 1 期実施計画（前期）平成 27～平成 32 年度）」に基づき「枚方市市有建築物保全計画」や「学校トイレ改善事業」等と整合しながら、財政負担の平準化とコスト縮減を図りつつ、計画的により良い教育環境の整備に努めます。</p> <p>平成 33 年度から実施予定の「枚方市学校施設整備計画（第 1 期実施計画（後期）平成 33～平成 38 年度）」の策定に向け対象校等の選定に係る検討を行います。</p> <p>また、「枚方市公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画の策定に向けての検討を行います。</p>
取り組み	<p>設計業務：第一中（平成 28～平成 30 年度）・津田中（平成 29～平成 31 年度） 樟葉小（平成 30 年度）</p> <p>仮設校舎建設：第一中</p> <p>請負工事：香里小（平成 30～平成 31 年度）・桜丘小（平成 30 年度） 第一中（平成 30～平成 31 年度）</p> <p>「枚方市学校施設整備計画（第 1 期実施計画（後期）平成 33～平成 38 年度）」の策定</p> <p>「枚方市公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画の策定</p> <p>《目標値》</p> <p>今年度の計画達成割合：42.2%</p> <p>平成 30 年度当初予算：1,746,074 千円</p>

(5) 学校トイレ改善事業	
方向性	<p>児童・生徒が安心して学校生活が送れるよう、「明るさ、清潔さ、使いやすさ、省エネ対策、コスト対策」を考慮し、ドライ方式による洋式トイレへの全面改造や多目的トイレの設置等、「枚方市学校施設整備計画」や「枚方市市有建築物保全計画」との整合性を図りながら、トイレの改造工事を行い、老朽化したトイレの機能の充実を図ります。</p> <p>また、改修工事等の「ハード面」において、快適になったトイレを継続して維持する為に、「ソフト面」での管理・運営方法の周知に努めます。</p>
取り組み	<p>予定どおり平成31年度に全小中学校の全てのトイレ改修を一順することを目標に、今年度は下記の整備を行います。</p> <p>平成30年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○管理棟：小学校5校（津田小、氷室小、招提小、磯島小、樟葉西小） 中学校3校（第二中、招提中、楠葉中）</li> <li>○教室棟：小学校1校（津田南小）</li> </ul> <p>各棟1系列のトイレ改造工事を行います。</p> <p>平成30年度当初予算：427,577千円</p>

(6) 学校規模等適正化推進事業	
方向性	<p>将来の児童生徒数を見通した市立小中学校の規模や配置等の適正化を進めるため、改定した「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、学校統合等に向けた取り組みを進めます。</p>
取り組み	<p>「枚方市学校規模等適正化基本方針」【改定版】に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合について保護者や地域コミュニティ等への丁寧な説明を行い、理解と協力を得ながら「枚方市学校規模等適正化実施プラン」の作成に向けて取り組みを進めます。</p>

(7) 学校給食の充実	
方向性	<p>「おいしさ・品質日本一」を目標に掲げ、子どもたちが「枚方の給食を食べたい」と思うおいしい給食の提供をめざします。</p> <p>中学校給食について、全員喫食の実現に向けて実施手法の検討を進めます。</p> <p>また、小学校給食について、老朽化が進む小学校給食調理場について、効率的・効果的な整備を図ります。</p>

取 り 組 み	<p>中学校給食について、選択制では目標喫食率確保に向けて、魅力の向上、利便性の向上、情報発信を3本柱に、各学校や保護者と連携した取り組みを進めます。</p> <p>全員喫食の実現に向けては、既存の調理場設備の最大限の活用や運営面での創意工夫等、実施手法の検討を進め、平成30年度末を目途に取り組み予定をまとめます。</p> <p>また、学校給食を安定的に提供できるよう、第三学校給食共同調理場の老朽化対策や香里小学校単独調理場の長寿命化改修に引き続き取り組むとともに、老朽化の進む単独調理場の対策について検討を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>中学校給食の喫食率：45.0%</p>
	平成30年度当初予算：248,815千円

### 3. 行政改革・業務改善

#### ◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
11. 市立学校園の施設開放事業の見直し	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との整理・調整を行い、事業の統合とともに使用料金の徴収についても、具体的に検討を進めます。
34. 学校規模等の適正化	市立小中学校の教育環境の整備・向上と学校教育の充実を図るため、「枚方市学校規模等適正化基本方針」【改定版】に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合を進め、学校規模等の適正化に取り組みます。
35. 市立幼稚園の効率的・効果的な配置	幼保連携のもと、就学前の教育と保育のあり方に係る一体的・総合的なプランを作成します。
45. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み (環境整備業務・学校園校務業務・学校給食調理業務・車両運転業務)	<p>環境整備業務・学校園校務業務については、まなび舎整備室メンテナンスグループ及び学校校務員の一体化に向けて、直営で行うべき業務量を見極め、効率的な人的配置の検討を進めます。</p> <p>学校給食調理業務については、単独調理場について、ドライ方式への改修を行うとともに、委託化の取り組みを進め、効率的・効果的な学校給食調理業務の運用を図ります。</p> <p>車両運転業務については、秘書業務の一環として、円滑で効率的な業務の執行を確保する観点から、適正配置に向けた取り組みを進めます。</p>

#### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
教育委員会における会議の改善	教育委員会定例会・協議会等の運営の改善や、タブレット端末を使用したペーパーレス会議を推進し、会議運営の効率化に取り組みます。
光熱水費の削減に向けたエネルギー調達	都市ガスの自由化を受けて、市立小中学校及び学校給食共同調理場のガス調達について、事業者の検討を進めます。 また、学校給食共同調理場の電力調達についても検討を進めます。
業務の効率化	職場の簿冊及び書類等の整理整頓及び適正管理を徹底し、業務の流れを意識した収納、机及び書庫の配置を行う等の見直しを進め、事務執行の効率化や、時間外勤務の縮減を図ります。

#### 4. 予算編成・執行

- ◆平成 29 年度に引き続き、市立小中学校全 64 校の電力調達について、特定規模電気事業者(PPS)等を活用し経費の節減を図ります。
- ◆学校園施設の改修にあたり、平成 29 年度に引き続き、国の学校施設環境改善交付金や大阪府補助金等の活用を図ります。

#### 5. 組織運営・人材育成

- ◆総合教育部として、教育委員会施策の取りまとめを行い、教育施策を推進するために市長部局と調整、相互連携を図り効率的・効果的な組織運営に努めます。
- ◆学習環境のさらなる向上を図るため、先進市視察や企業が行う専門研修等に参加することにより、外部の知見を活用した人材の育成を図ります。
- ◆調理業務の応援体制の確保とともに、調理技術の継承やドライ運用の普及、調理作業手順書や衛生管理マニュアルに基づく運用を進めるための助言指導等を図り、より一層「おいしい給食」を提供する観点から、引き続き、単独調理場巡回応援職員を配置します。

#### 6. 広報・情報発信

- ◆教育委員会の取り組みや魅力の情報発信  
本市教育委員会の活動や学校園における学習環境の整備状況等、子どもたちの教育環境に関する情報を保護者や市民にわかりやすく提供します。  
また、学校園の安全対策、学校規模等の適正化の推進、学校給食の充実等の取り組みについても、広報ひらかたやホームページへの掲載、FM ひらかたへの出演等により、市民にわかりやすい情報発信に努めます。

◆中学校給食の取り組みの情報発信

中学校給食について献立の特長や食物アレルギー情報、最新のトピックス等の情報を発信していくため、毎月の献立表をカラー写真入りで印刷し全生徒に配付します。

また、中学校給食のプロモーションビデオについて、保護者説明会や試食会での視聴に活用する等、中学校給食のPRに努めます。